三和新報
THE SANWASHINPO
第216號　（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）
1月17日
（月曜日）
発行所
三和新報社
平市六丁目
電472番

銘菓
平ぴん餅ぴん
松月堂

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

ニセレッテルの一級酒

常磐市　中味は二級酒で一波乱

お歳暮にもらつた一級酒をもつたいないから二級酒に取り替えてもらおうと知合の酒屋に持つていつたところレツテルだけが一級酒で王冠と中味は二級酒だということがわかり、平税務署でも問題を重視して調査をはじめたという〃インチキ一級酒事件〃が湯本に発生した

問題の酒は常磐市湯本字横町のS商店主（特に名を秘す）が旧ろう二十六日東京の問屋からお歳暮にもらつた花春の一升ビン詰めで、S商店主がもつたいないから二級酒に取替えてもらおうと近くのA酒にもつていつたところ「このレツテルは一級酒だが、王冠と王冠の帯封および中味は二級酒だ」といわれてビツクリ、手紙で贈り主の東京の問屋に問い合せたところその酒は湯本温泉のB酒店で買つたものだということがわかつて二度ビツクリ、B酒店に抗議したところB酒店では「酒問屋から仕入れたときにビンがこわれていたので二級酒のビンに詰め替えて一級のレツテルをはがして貼つたもので中味は間違いなく一級酒だ、何だつたら新しい一級酒と取替えてもよい」といつているが、S商店主は納得出来ないと問題の一升ビン詰を飲まないで保管しており近く東京の問屋が来るまでよく事情をきいてから態度をはつきりするといつている

A酒店の話—花春の一級酒は王冠がふくれ上つたようになつており銘柄（酒の名前を書いたレツテル）のわきに「大吟醸」と書いたレツテルが貼つてあるが問題の一升ビンは王冠が二級酒用の平べつたいやつで帯封も二級酒のものであり銘柄のわきのレツテルも大の字のつかない「吟醸」と書いた二級酒用のものだつたので、おかしいと思つてS商店主にそのことを話した

S商店主の話—A酒店からこれは二級酒だといわれてビツクリした王冠をはがしてチヨツと飲んでみて成程二級酒だとわかつた、B酒店では何度も新しい一級酒と取替えてもよいといつているが、取替えないで保管している

平税務署の相沢間税課長の話—二級酒を一級酒と偽つて売つた場合には価格統制令違反と詐欺になる、一級酒のビンがこわれていたので二級酒のビンに詰めかえるということは常識では考えられない、ビンがこわれていれば酒問屋で取替えてくれるはずだ、しん重に調査を進める

タコあげ審査員決る

平市観光課では二十三日松力岡公園で行われる凧揚げ大会の審査員に鯨岡観光課長、長谷川市教育長鈴木一中校長、佐藤一小校長の四氏を委嘱した

油断と交通事故

米人兵のハイヤーとトラツクが衝突したと思つたら小名浜ではトラツクの上に機関車が馬乗りになつてしまい一瞬に死傷者十二名を出すという椿事が起り早くも今年の十大ニユースの一つになろうとしている。

足をもぎられたり頭をつぶされたり誰しも交通事故の悲惨さはよく分つており、好きこのんで事故を起そうというものはいない筈だ。しかし軽モーターつき自転車がやたらに多くなりハイヤーやトラツクはそれらを追い越して疾走しているさまは、肌に粟が出来るほど恐ろしい光景である。

人間は四六時中緊張しているわけにはいかない。疾走する自動車の運転手たちがちよつと油断をすると四、五人はねとばされるのは朝メシ前である。こうした交通事故をなくすために運転手諸君のスピード違反、交通規則じゆん守などについての良識を望んでやまない

米兵ハイヤーとトラ衝突

〃動いちやいけないMPよべ〃

言葉通ぜず手こずる

日本のトラツクと正面衝突して動けなくなつた駐留軍兵士のハイヤーが平署の取調べに対し「MPが来るまでは現場をはなれない、日本のトラツクも動くな」とガンバリ、吹きさらしの国道上で冷たい一夜を明かした国際的衝突事件が発生した、十四日午後八時半ころ大浦村細谷字弁天地内国道〃弁天橋〃上で駐留軍横浜航空師団エドワードGトワイデーン一等兵（三二）の運転する一九五一年型シボレーと勿来町関田字下寺四古川勝一さん（三四）の運転する磐城貨物勿来営業所のトラツクが正面衝突、ハイヤーは右前部フエンダー、ライトなどを中破して動けなくなり、トラツクも右後部車輪を中破した、平署から愛川警部補とパトロールカー（橋本、樋口両巡査乗組）同署四倉警部補派出所から黒沢警部補と原田巡査部長が現場に急行したが言葉が通じず、通りかかつた平市中神谷字瀬戸常陽銀行湯本支店員佐藤正一君（一九）と平署から頼まれて駈けつけた市正月町スピーデー自動車商会大内弘君（三七）の通訳で事情をきき、こわれたハイヤーを平市まで曳行して修理する旨伝えたが、エドワード一等兵は「ノーノーMPを呼んでくれ、MPが来るまでは絶対現場をはなれない、ジヤパントラツクも動いちやならん」と承知せず再三曳行を交渉したがノーの一点張りでラチが明かないので署員らは仕方なく十五日午前一時半ころ現場を引揚げ平署から県警本部を通じて駐留軍原ノ町キヤンプにMPの出動を頼んだがダメで仙台駐留軍にMPの出動を要請した、エドワード一等兵はMPの到着を待つてこわれたハイヤーの中で一夜を明かし古川運転手も止むなくトラツクの中で徹夜したが十五日夕刻仙台から臨軍のMPが到着ハイヤーを曳行して帰仙、トラツクも移動を許された、エドワード一等兵は私用で横浜から駐留軍松島キヤンプに向う途中のものでトラツクは荷物を積んで富岡から勿来に帰る途中だつた、古川運転手は「ハイヤーは時速三十マイルぐらいのスピードですれ違う際にもライトを消さずいきなりトラツクの右側車輪に衝突した」といつており平署でしんちように調べている、なお事故のてん末は国際的なものだけに直ちに地検平支部にも報告された

小名浜臨港　機關車トラに馬乗り

魔の踏切で十二名死傷

号外一部既報—十五日午後〇時十八分ころ磐城市小名浜字林の上地内の小名浜臨港鉄道宮下駅構内下川街道踏切で同市江名町字岸浦常磐貨物KKのトラツク—運転手磐城市下明神町網取　山口又吉さん（三八）—と同臨港鉄道泉発下り宮下行き六五貨物列車—機関士遠藤真雄さん（五七）—が側面衝突、トラツクはおよそ五米引きずられて線路わきの電柱に激突し一回転半してメチヤメチヤに大破、機関車は脱線して大破したトラツクに乗り上げ、トラツクに乗つていた十九名のうち磐城市小名浜字竹町丸金漁業部（支配人桂覚信さん）雇漁夫四名が即死、重傷後死亡一名、重軽傷七名を出した、このため臨港鉄道は上下線とも不通となつたが徹夜の復旧作業で十六日正午ころ復旧した、磐城署では軽傷の山口運転手を業務上過失致死、道路交通取締法違反の疑いで取調べ、事故の原因を追及しているが、トラツクは列車の進行に気がついて一旦停車したが、ボデーに乗つていた漁夫たちが列車の進行を運転手に知らせようと、「オーイ、オーイ」と叫んだが運転台に「オーライ」ときこえ一気に踏切りを突破してしまおうと前進したための事故と見られる、

トラツクは丸金漁業部（本社青森県八戸市（社長菅野猛夫氏）塩釜港所属アグリ船加茂丸に積込む漁網を同市なぎさ海岸から運ぶ途中のもので運転手のほか漁夫九名が乗つており途中で検査帰りの小名浜消防団第四分団員小松広次さん（三九）ら九名を乗せ総勢十九名となつたが、小松さんらは衝突寸前とび降りて難をまぬかれた[illegible]ので漁網にくるまつていた漁夫たちはとび降りることが出来ず遭難したもので重軽傷者は同市石井医院に収容された

現場はつい七日前にも臨港鉄道の貨車と日本水素小名浜工場の貨車が衝突して三輛が脱線、昨年十一月にはジーゼルカーとトラツクが衝突してトラツクが大破したことのある遮断機のない魔の踏切りで地元民たちから遮断機の設置を要望されていたものである、めちやめちやに大破したトラツクの上にのし上つた機関車の両車輪には漁網と死傷者の肉片が絡みつきせい惨を極めた、事故と同時に臨港鉄道宮下、水素前、小名浜の三駅から駅員およそ三十名がかけつけ日水小名浜工場のクレーン一台と同市小名浜永山電気工事KKから電工五名が出動して機関車の引きおろしやサーチライト取付けなどに協力した、列車は泉発午前十一時五十七分、宮下着午後〇時九分で石炭個載の貨車八輛を連結、十分遅れていたものである

平事件最終辯論　僅か五分で閉廷

辯護人不在で裁判延期

平事件容共系一派百三名の第二回最終弁論公判は十七日午前十一時十五分から地裁平支部で山田裁判長係、高橋主任検事、自由法曹団長上村弁護人立合で開き上村弁護人から主任弁護人の竹沢氏の実父が死亡したのと岡林弁護人がニユーデリーで開かれるアジア地区法律家会議出席のため十七日から三日予定されている弁論を延期してもらいたいとの延期願を提出、高橋検事もやむを得ないと同意を表明、裁判官が合議の上延期を認め五分で閉廷した、期日は未定、なお当日被告側は鈴木光雄、鈴木磐夫、金明福、松木佐吉氏ら七名だけが出席、傍聴人は二人という淋しさだつた

永年勤續者表彰

十五日　平料芸組合初総会

平料芸組合の新年初総会は十五日午後一時から市内大貞で諸橋市長関内代議士、高木代議士など名士五十名を招き催し、永年勤続者、芸道精進者などを表彰した、永年勤続者次の通り

△五年　小りん（喜美の家）とみ子（久本）

△三年　和美（開花）小紅（吉野家）小桜（湖月）みよ子（久本）久丸（久本）清美（金本）

△五年　高島清次郎（酒喜庵）吉田セツ子（味郷）

△三年　野口よし子（のんき）沢田澄子（一平）

外國人登録証を買漁る

韓国人三名を逮捕

県警本部警備課では韓国人が密入国者のために外国人登録証を不正入手しようとして昨年秋ごろから磐城市役所はじめ郡下ほとんど全部の市町村役場に一枚五万円で買いたいと働きかけ偽造を策しているのを探知、高田警備部長が十四日極秘裡に来郡して十五日磐城市寺町加藤順一（四三）ほか四カ所と茨城県一カ所の家宅捜索を行い加藤ほか磐城市君塚仕立業季慶烈（四八）同市北町パチンコ業河水哲（四〇）の三名を贈賄提供容疑で逮捕、平署に身柄を移して取調べているが事件の発展いかんによつては吏員の汚職も考えられ注目されている

高田警備部長談—全国的な組織かどうかはまだはつきりしないが石城地方は相当活発に動いている、まだ被害者は一人もないと思う

アセチレン爆発三名重傷

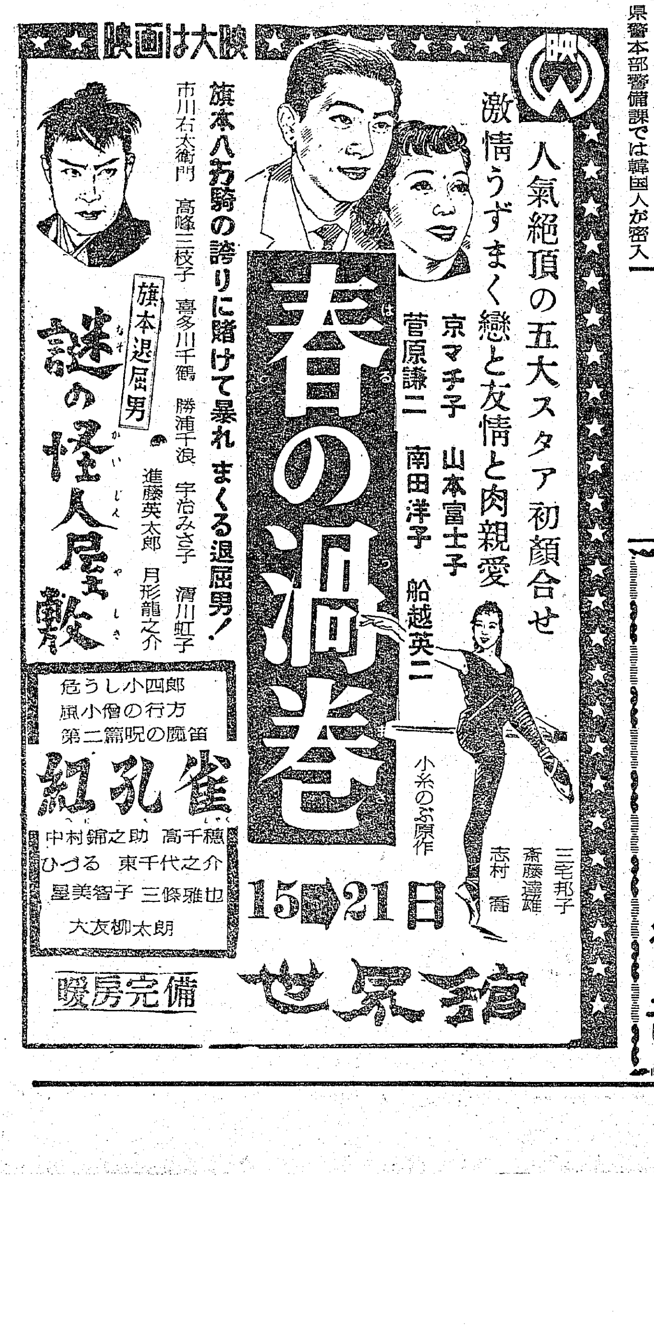
十五日古河好間竪坑で

十五日午後二時二十分ころ古河好間炭鉱第二立坑（排気坑）内上部石炭吐出口附近で、ローラーガイド修理中の同鉱機械係渡辺一郎（三八）日勤夫八木沼貞夫（三八）同若松正治（三九）さんら三人がスキツプ上で酸素切断機に火をつけようとしたとたんアセチレン発生筒に引火し更に附近の炭塵に引火爆発し全坑火の海となり若松さん、渡辺さんは二カ月、八木沼さんは二週間の火傷を負つた

故斎藤敏実葬儀に際しましては御繁忙中遠路わざわざ御会葬下され又御鄭重なる御供物御香奠を賜はり誠に有難度う御座いました。茲に皆様の御厚情に対し衷心より御禮申上げます。

昭和三十年一月十七日

平市字田町五十四番地
嗣子　斎藤実
男　二郎
男　時正


映画は大映
人氣絶頂の五大スタア初顔合せ
激情うずまく戀と友情と肉親愛
春の渦巻
京マチ子　山本富士子
菅原謙二　南田洋子　船越英二
三宅邦子　斎藤達雄　志村喬
小糸のぶ原作
旗本八方騎の誇りに賭けて暴れまくる退屈男！
旗本退屈男　謎の怪人屋敷
市川右太衛門　高峰三枝子　喜多川千鶴　勝浦千浪　宇治みさ子　濟川虹子　進藤英太郎　月形龍之介
危うし小四郎
嵐小僧の行方
第二篇呪の魔笛
紅孔雀
中村錦之助　高千穂ひづる　東千代之介　星美智子　三條雅也　大友柳太朗
15→21日
世界館
暖房完備

カガミ
湿気に耐える
湯水で洗つても
大丈夫（ダイジヨービ）
名入広告鏡
温泉　浴場用
洗面所・洗髪所
理髪館・美容室
自動車船舶用
平市松ヵ岡公園前
電話　平　689
ガラス部　ミラー
ガラス
吉村ガラス商工

旧正前に滞納一掃

石城地方事務所で懸命

石城地方事務所では旧正月前に県税滞納額一億七千萬円を一掃するため十四日六千通の催告状を発送した、廿日から廿二日まで税務課員三十名を各町村役場に出張させて徴集し、この期間内に納入しないものについては二月一日から強制差押えをする、滞納のトツプは事業税ついで遊興飲食税、自動車税の順で中には昭和二十五年度から滞つているのもある、二十九年度県税の総税額は四億二千万円でこのうち六十%の二億五千万円は納入され納入率はデフレにもかかわらず昨年にくらべて四%上廻つている、また十八、十九の両日はハイヤーに拡声器をとりつけて郡内をめぐり納税をうながすほか滞納者の戸別訪問をして納税を促進する、税務課では滞納一掃準備のため一週間も前から全課員が夜九時ころまで残業、アルバイト五名を雇入れるなど大童で「催告状六千通の発送だけで郵送料が三萬六千円もかかるが、ハガキで催告したのでは世間体が悪いだろうと思つて封書にした」と温い親心を見せている

大サイレン取つけ

内郷消防部

内郷市ではこのほど五十七萬円で常備消防部前に鉄骨火の見櫓を建設したが火防の徹底をはかるため十四日工費六万円で五キロ四方にまでなりひびく十馬力のサイレンをとりつけた

炭鉱地区学校に救援物

県教委石城出張所では県下各地から寄せられた炭鉱救援物資を十八日午前十時から赤井、好間、内郷常磐、山田、田人、上遠野、勿来川部などの炭鉱地区小中学校三十八校に配分する、配分物資は衣類百六十七点、雑誌二百六十九册、エンピツ七百三十二本、ノート六千三百十七册など

平医師会館落成

平医師会で建設中の平医師会学校及平医師会館はこのほど落成したので十七日午後一時半から盛大に落成式を挙行した

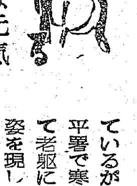
小中校教務主任会

石城郡内小中学校教務主任会は二十日午前九時から常磐市湯本公民館でひらき教務事務研究および総会開催について協議する

暖かい聚楽館

全館に暖房スチーム

洋画専門上映の聚楽館では今冬から館内暖房装置を設備して常夏の暖かさ、寒さを知らずに映画がたのしみられるようサービスしている、ボイラーをたいてスチームを全館内に通しているもの



市長さんは元気です

○…ひよつこり公民館に姿をあらわした常磐市の矢吹市長、開口一番何をいうかと思つたら「オレはまだ元気だよ」だと、若いものに負けない、老いてますますさかんだ、今度も一票たのむとでもいいたいところだつたのか、その帰りぎわがよかつた、まだ一面識もない青年にまで声をかけた、それが十年の知己にでも対するようないんぎんさである、どぎもをぬかれた青年首をかしげていたが暫らくして小膝をたたいてニツコリ笑い「センキヨかい」とはそのものズバリ

鈴木忠生さんのこと

○…鈴木忠生さん、こう書いてももう記憶にない方もあるだろうがかつて平市署の交通係にいた老巡査部長といえば思い当るふしがあるだろう、昨年十月末四十四年の警察生活にサヨナラして特進警部補を最後に退職した忠生さんは現在市内ネギ町で静かに余世を送つているが、老いてますます盛ん、平署で寒げいこをはじめたときいて老躯にムチ打つて毎日演武場に姿を現し範士の貫録を発揮して後輩警官をピシリピシリと打ち込んで往年の剣豪ぶりを見せている、年明けて齢六十四才「カクシヤクたるかな、かの翁や」と署員たちを感歎させている

歌を忘れてはおりません

○…詩人の日野利春氏は一杯のんでどんなに御機嫌になつても歌はやらないといわれている、ところがどうしてどうして—日野さんは気がむけばいくらでも歌をうたう〃いつちくだつちくカヤのみ、おとひめ様が……〃という歌だけを千萬べんでもうたうのである、またその声たるやサビがあるというよりなんといつたらよいのかヘンチクリンな声でこんな声もあるのだろうかといつたようなもの、ウグイスにワサビをくわせたらあんな声になるかもしれない

ベンテン様と酒

○…平署捜査係の大内警部が新年から好きなお酒をプツつり絶つと弁天様に悲願をかけた、酒は百薬の[illegible]と賞めていたのに何の風の吹きまわしだろうと署員たちは首をかしげているが、御当人は気違い水の害を精神的にも肉体的にも身をもつて体験したらしい、自宅の神棚にデーンと祀られた弁天様が「一滴でも飲んだらバチを当ててやるぞ」とジロジロにらみをきかせているから絶対に飲めないという、なお酒を絶つた陰にヒソんだ謎は……それは内緒内緒で誰にも云えないそうだ

したたかムスメ

○…恩を仇でかえされた話—常磐市湯本字三函焼鳥屋浅川スイさん（三五）は十一日朝二時ごろ雨戸をたたき「平までゆくのだが汽車の時間を教えて下さい」とひよつこり舞いこんできた少女（一七）—常磐市湯本字宝海—をもはや平までの汽車がないばかりか身が凍るような寒い夜だつたので「明朝帰つては」と気の毒に思い泊めてやつたところこの少女タンスや押入れをあけ夜業を始めたという、あやしい物音にびつくりしてとび起きた浅川さんは矢庭にとりおさえたが涙をポロポロ流して「なんでもいうことをきくからかんにん」というので安らかに朝までねかしこんこんとさとして帰してやつたとか

ドルを呼ぶ草花

今パンジーの盛り

平市塩地内の県園芸原種農場の輸出用パンジー（三色スミレ）は、今が真つ盛りで五坪ほどの花園を三色に美しく彩つている九月ころまで咲かせてからタネをとるもので、タネは一合千円から千五百円ぐらいでアメリカに輸出されるからドルを呼ぶ草花として農家の副業にはもつてこいである

平署演武場の疊表替え

平署では予算二萬九千円で演武場のタタミ四十五畳を全部表替えし

今夜の映画

（[illegible]）

◇聚楽館　（十五—二十）謎のモルグ街　立体映画怪憎ラスプチン　六、四五
◇世界館　謎の怪人屋敷　春の渦巻　紅孔雀二部　六、三〇
◇平館　この広い空のどこかに　透明人間　七、〇〇
◇民劇　浮かれ狐千本桜　照る日曇る日後篇　人斬り彦斎　五、三〇
◇ひかり座（十—十九）青い麦　マラガ　夜六、五〇
◇第二いわき（十五—十八）残月一騎打　火の女　紅孔雀
◇緑映劇（十五—一七）オレの拳銃は素早い　地獄の復讐　お月様には悪いけど

ユーモア大學

（稿投歓迎）

一騎打　—カマヤ
金物五割引

パス料金値下げ断行　—常磐交通

（平　三下ヤツコ）

平市古鍛冶町（県社下）
性病科
皮膚病科
矢吹医院
電話一、一九三番

結核療養所
給食設備完備
結核予防法指定医
呼吸器科
後藤内科
本院　平市古鍛冶町　電一、〇三六
病室　平市月見町五八　電二、一三八

パンは開花亭
平市五丁目
電二四二

御宮
橋本屋
平市新川町
電一九四八

伊勢松坂牛
すき焼
御一人様…………200円

ハムサラダ	50円
てんどん	80円
カレーうどん	50円
まだこのさしみ	40円

お好みおでん

旨酒 肴
まるせ
平市 中央通り 電1820

書籍と文房具
ヤマニ書房
平駅前　電七七七

時計と眼鏡　楽器とレコード
湯本 ハチヤ時計店
TEL254

平館 15日より
この広い空のどこかに
与えられた家庭の壁の中で夫の愛を信じて生きる新妻婚期を逸した女のこ独な悲哀と焦燥!!
佐田啓二　久我美子
透明人間
姿なき戦りつ!!
透明人間とは何者
銀座の舗道を血で染めた殺人事件！
河津清三郎　三条美紀
日守新一　高峰秀子
東宝

15→20日　暖房完備
謎のモルグ街
ワーナー・ブラザース映画配給
エドガー・アラン・ポーの原作
立體映畫總天然色
人か魔か？鈴の音に次々と倒れゆく美人の惨死体！
カール・マルデン
クロード・ドーファン
怪僧ラスプーチン
聖者か？救世を説く偉人か倦くなき色欲坊主か…
ピエール・ブラツスール
イザ・ミランダ
ルネ・フォール
パテ超特作
新外映提供
聚樂館